

と思つたかも知れぬ」と稱す。是非は知らず兩組合が常に快からざりしは事實なれども、今回の罷工には終始一貫して提携したり。而して坑夫組合の行動は聯合會側と共に頗る強硬なるものありき。

▽労資の宣傳戦開始

茲に於て事態漸く穩かならざるものあり、二十三日鑛業所は各坑口に掲示して經濟界の不況の如何に深刻なるかを披瀝し、會社の不況を訴へ、此際労働者の待遇改善をなすが如き、到底不可能の事實たるを失はず、萬一労働者が要求等をなすが如き事あらば、會社は止むを得ず斷然たる大革新をなさるべからずとの意を表示したり。組合は之に對抗宣傳をなすべく、要求八ヶ條の内容及次の宣傳ビラを、廿四日の退坑時に一般労働者に配布したり。

まだ。いとけない時代から大和心といふ言葉は可なり、吾々の頭に喰ひ入つて居る。そして常に大和心の發揮に努めよと言はれて來た。然らば大和心とは何んな心であらうか？
諸君よ！労働者諸君よ！復讐心と反抗心とを形容したものが即ちそれである。再三の對外的戦ひに勝つたのも、大和心があるからだ。……と言へば美しく聞えるが其實は日本人特有の反抗心と復讐心とがあるからだ。世界に例を見ぬ、昔時に於ける敵討が則ちそれである。二十世紀の今日に於て、團結權に依つて労働者が資本主義に反抗するのも大和心の發揮に外ならぬ。吾々は三代の先祖を彼等資本家の魔の手に依つて無慘に葬むられてゐる。吾々の先祖や吾々の積り積つた復讐をすべき時は今なのだ。則ち大和心を發揮すべき時は今である。
上景氣の時代に於て平然として吾等を苦しめた資本家が一朝不景氣の襲來に逢つて四苦八苦の苦しみをすると、それは我等の知らぬことである。吾等要求すべき條件はドシ／＼せれば止まぬ。民衆の労働によつて生きて行かれる彼等はまだ／＼幸福だ。

情を知らぬ古河がシドロモドロに苦しむともそれは當然の成行だ。天の自然は正義を顯らす。做る平家は久しからずだ。我等の目的は資本主義惡制度の倒壊にある。

景氣熱の盛な時代に美味い油を吸り合つた彼等が財界不況の今日に苦しもうな産業状態の揭示をしても誰がそれに服従するものか我々は層一層奮闘努力大和心の發揮に努めねばならぬ。

本部も全力を注ぎ、全国の支部も又之を認め應援運動を起すに至つた。來る二十五日午後六時城崎座に於ける三山聯合役員大會に一般の入場を許すことなれば熱烈な諸君の入場を待つ。(原文の儘)

全日本鑛夫總聯合會足尾聯合會

尙通洞及砂畑に於ては大道宣傳をなし結束に努む。大道宣傳の機微は左掲の如き俗語にすら之を讀むことを得。

- ▼クビきリケイツでおどろくならば、ロードウッドはできはせぬ。
- ▼カイヨされてもツチくいても、ロードウッドはやめられぬ。
- ▼ロードウッドもデキないぬしの、ニウボになるよなわしぢやない。
- ▼ロードウッドがデキないならば、コヨイかぎりデヒマをくれ。
- ▼わたしのヨオキユいれないならば、バケテデルのはあたりまい。
- ▼クビをキルならスツバリおきり、わたしのからだのチガはしる。
- ▼ロードモダイもしらないクセに、なまいきぬがすなデクノボー。
- ▼ツゴオヨイのはドオザンキツク、三日アケツにとりかいる。
- ▼だしたヨオキユはタハケンヨ、九ツヨいわすにいわれくれ。
- ▼コンドのヨキウいれないならば、ドオザンカーともいわれまい。(以上原文の儘)

會員外よりの基金寄附金募集、會費徴收、擴張員派遣等接戰準備に怠りなし。廿四日日本山支部長石